

Newsletter

No.18 (2007.3.9 発行)

JAICOWS 総会のお知らせ

下記の要領で JAICOWS 総会と講演会を開催します。多数の皆様のお集まりをお待ちしています。

JAICOWS 会長 原 ひろ子

日時：2007年3月27日（火）

11:00-12:00 役員会

13:00-14:00 総会

14:00-16:30 講演会

5. その他

講演会

「第20期学術会議とジェンダー問題への取り組み」

講師：浅倉むつ子先生（早稲田大学教授）

「ジェンダー平等の実現に向けての男性・男児の責任と役割—第51回国連女性の地位委員会の当該議題に関する日本女性監視機構(Japan Women's Watch)による報告から」

講師：原 ひろ子先生

(城西国際大学大学院客員教授)

場所：専修大学8号館2階821号室

総会議事

1. 06年度事業報告
2. 06年度会計中間報告
3. 07年度事業計画
4. 07年度予算

出欠の有無・委任状を同封のはがきで 3月20日までにご返送ください。

JAICOWS 会員勧誘と会員増のご報告

一昨年、日本学術会議法の改正に基づいて新体制が発足した際に、女性会員が急増して42名20%に達したことはすでにお伝えしたとおりです(ニュースレター16号)。その後、連携会員の選出結果を見ると女性は2割には達しなかった模様です。いずれにせよ、JAICOWSの活動を

知っていただき、会員を増やすよい機会だと考え、9月末の連携会員の説明会でJAICOWS会員が手分けをして勧誘を行いました。その結果、20名が加入されたほか、問い合わせなどもだいぶ来ている状態です。今後とも勧誘の活動は行って生きたいと考えております。

新連載(不定期)のスタート

JAICOWS ニュースレターでは、会員の方々が興味を持ってくださりそうな学術をめぐる動向などを不定期に連載して行きたいと考えています。まず、ここにきて数が増えつつある専門職大学院の動向などから出発したいと思っています。皆様お忙しい方ばかりなので、たとえば急に女性学生の比率などのデータを集めることはできませんが、徐々に補充しつつ細く長く続けられたら、と思っております。積極的な投稿や質問などもお待ちしております。

専門職大学院の動向 I 法科大学院制度について

専門職大学院として、法科大学院制度が2004年（平成16年）4月より発足した。今まで、法曹（裁判官・検察官・弁護士）になるには、狭き門の司法試験（択一・筆記・口述の3段階からなる国家試験・合格率2~3%）に合格することしかなかったが（法学部の教授は、特例として、弁護士資格を得うる）、法曹人口を増大させるため、適性試験を経て、法科大学院（2年または3年）に学び、法務博士の資格を得て、新司法試験に合格したものを法曹とすることに制度改革がなされたのである。それによって、年間1500人が限度であった法曹人口の産出が、3000人程度になる見通しである。女性が半数を

占める社会を束ねる法律の担い手としての法曹に女性が参画することは、非常に重要なことである。戦後、法学部も男女共学となり、ようやく、女性にも法律家になる道が開かれ、女性法律家協会（もとは、婦人法律家協会）も広く活動を行っている。法学部出の女性が、平等に仕事ができるのは、法曹と公務員しかなかったので、比較的多くの女性がこの分野に進出しているが、今春、法科大学院を出る予定の者は、約3割弱である。もう少し、多くの女性が法科大学院に進学してくれることを期待している。

（岩井宜子・専修大学法科大学院副院長記）



女性科学者のインタビュー・リレー〔2〕

JAICOWS初代会長からのメッセージ

～誰でもできる“一隅を照らす努力”から社会福祉学の確立まで～

一番ヶ瀬康子さん（社会福祉学） 長崎純心大学教授・日本女子大学名誉教授

1. 混乱の戦時期から自立した研究者へ

質問 どんなキッカケで学問の世界に入られたのですか？

私は若い頃、乗馬が趣味で、馬がとても好きでした。獣医さんになりたかったのです。ところが1942年当時には男子しか獣医師の学校には入学できませんでした。今のようにペットの診療が主流ではなく、戦時中は軍馬の治療や農家の牛といった大型の動物が対象で、女性が受け入れられなかったのです。そこで動物愛護を社会の仕組みとして持っている英国の社会改良に関連する学科を選び、1943年（昭和18年）に日本女子大学家政学部三類（社会事業関係）に入学しました。しかし昭和19年、20年は戦争の時代で大変でした。家族は台湾から終戦後引き揚げできましたが、役人であった父はインドネシ

アで囚われていたので、その二年後に帰国するまで苦しい生活でした。1948年から鐘紡丸子工場の女工さんたちの寄宿舎の教師として勤め、寄宿舎に住み込んで、いわば産業カウンセラーとして働きました。女工哀史の世界ですからね、人間の差別について切実な局面に立つことにもなります。教え子から組合の指導者も輩出しました。

質問 いつから本格的な研究を始められたのですか？

大学の助手として母校に戻った時からです。当時の一般的認識では社会事業が主流で、職能教育、働く人を養成することが重要でした。しかし大学では「社会福祉」をどうとらえるかという一段高いレベルが重要です。英文科出身で米国留学したことのあるアメリ

カ理論の先生が多かったので、私は日本の問題を解決するには弱いと感じました。

質問 どんな先生方に師事なさいましたか？

恩師は生江孝之（なまえたかゆき）先生です。それから大内兵衛先生に法政大学大学院で指導を受けました。アメリカの理論を直訳して教えても日本の問題解決にはならない。アメリカ社会福祉発達史の研究を進めながら、日本とアメリカの相違点を明確にし、5年以上かけて東京都養育院の記録「養育院百年史」を完成しました。さいごには寮母として養育院に住み込んで、関係者の聞き取り調査も行いました。この後、経済学博士号を取得し、今和次郎賞を受賞しました。1968年に教授となり、高齢化社会の自殺など老人問題、保育や教育のこども問題、女性の労働と福祉、外国人労働の問題点などグローバルな視座から社会福祉学の確立をめざして働いてきました。

質問 大切なことは何ですか？

グローバルな視座をふまえながらも、草の根からの人間的な実践、各人のできることから行う“一隅を照らす”努力、そして生活者の共感を前提としたミクロで緻密な探求が大切です。今、肝心なのはこれらを基盤として、絶えずマクロな展望を模索し続ける研究者でしょう。（著書「社会福祉の歴史的研究」労働旬報社刊）

質問 現在の夢は？

いま長崎純心大学で博士課程の指導をしています。全国から院生が集まり、今までに10名の方が博士号を取得しました。また母校の理事として創設者の夢を大切に思っています。

2. 女性研究者のネットワーク

質問 女性科学研究者の環境改善に関する懇談会（JAICOWS）の創設メンバーのおひとり

だと伺っていますが？

猿橋勝子さん（地球科学）は第12期で唯一人の日本学術会議会員（女性）でしたが、私が第13期日本学術会議会員になった折は、女性が3人でした（注：安川悦子さん、林雅子さん）。その後、第16期には女性会員がまたもや1人になり（注：島田淳子さん）、それを契機にお茶の水女子大学で懇談会をしました。その席で女性科学者が増えるようにとJAICOWSを設立し、年会費1万円でスタート。人文系の専門だけでなく理系にも多数の女性科学者を育てたいし、女子大勤務の者がほとんどなので、男女共学の大学でも女性教授が増える方向へ努力しましょうという意見が出て、私が初代会長をさせていただくことになりました。

質問 現在のメンバーに伝えたいことは？

女性研究者には当時から非常勤講師である者が多かったし、休暇がとりにくいために勤務を継続できない、学会や研修に出にくいなど改善されるべきはずの職場環境の問題点が多くありました。科研費申請のための研究者番号がもらえないだけでなく、各大学に根深い女性への偏見、差別も依然としてあります。学術会議声明を出すなど積極的に活動してください。女性が増えて女性の感性が科学の諸領域に広がれば、学問全体が深められ、さらに科学が発展するのです。男性だけで研究していたのでは及ばないことも多いでしょう。女性の感性は科学をもっと深めうるきわめて大切なものと認識しています。そのためにもJAICOWSは、その後の会長である安川先生、島田先生、原ひろ子先生ほか日本学術会議会員の女性研究者と研連委員、連携会員が力を合わせて、現実的な環境改善の果実を挙げていただきたいと願っています。

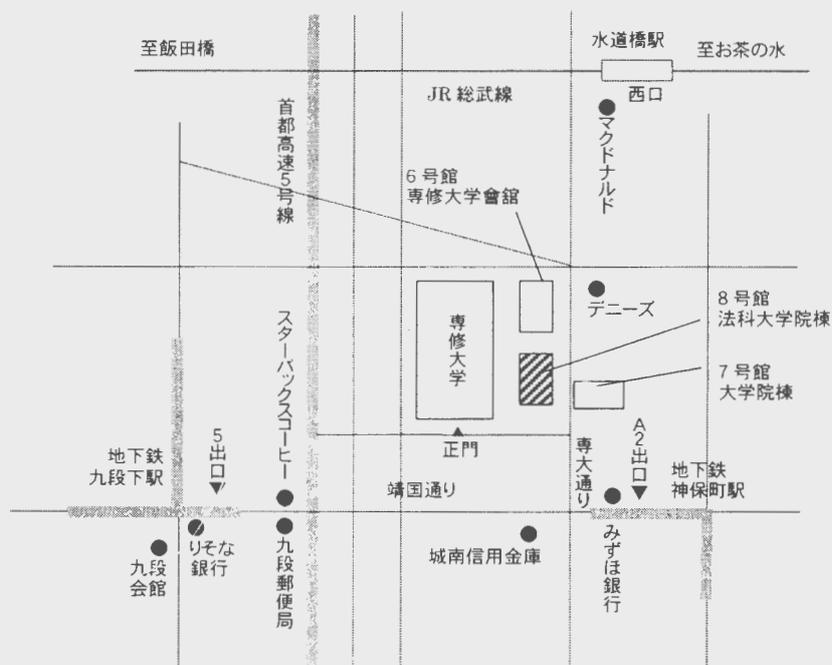
インタビューは国枝タカ子による。

（収録：2006年9月5日）

総会等会場へのアクセス

専修大学神田校舎 8号館

8号館は専大通りに面している 法科大学院の建物です。



【住 所】

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8 専修大学法科大学院

【交通機関】

水道橋駅 (JR) 西口より徒歩 7 分

九段下駅 (地下鉄/東西線、都営新宿線、半蔵門線) 出口 5 より徒歩 3 分

神保町駅 (地下鉄/都営三田線、都営新宿線、半蔵門線) 出口 A2 より徒歩 3 分
(法科大学院へは徒歩 1 分)

連絡先：女性科学研究者の環境改善に関する懇談会 (JAICOWS) 事務局
〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8 専修大学法科大学院 岩井 宜子
Tel 03-3265-6917 Fax 03-3265-6962
E-mail ths0494@isc.senshu-u.ac.jp
http://jaicows.fc2web.com/

事務センター：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-2 大橋ビル 株式会社ワールドプランニング
Tel 03-3431-3715 Fax 03-3431-3325 E-mail world@med.email.ne.jp

郵便振替 口座番号 00100-8-542793